

名称 ICIMOD (International Centre for Integrated Mountain Development)

日本語名 国際総合山岳開発センター

親機関 MAB

住所 P.O. Box 3226, Kathmandu

国名 NEPAL

電話 977-1-526313

ファックス 977-1-524509

1. 組織のタイプ：国際的研究センター

2. 地理的範囲：ヒマラヤ地域（ネパール、インド、中国、パキスタン、ブータン、バングラディシュ、ミャンマー、アフガニスタンの8カ国）

3. 目的

ICIMODは1983年12月に設立された。ドイツ、スイス、UNESCO、インド、バングラディシュ、ブータン、中国、パキスタン、ネパールから主要な資金を得ており、研究資金については、EEC、ADB、フォード財団、IDRC、ILO、IUCN、ODA/SEADD、UNEP、UNESCOより得ている。ICIMODの目的とするところは、

- (1) 計画的な知見・経験の交換にもとづいた総合的な山岳開発の学際的な文書管理センター
- (2) 応用・問題解決研究の流動化(mobilization)、実施、協力
- (3) 総合的な山岳開発の人材養成
- (4) ヒマラヤ地域の国々に対し、総合的な山岳開発に関して専門家にコンサルティングの提供

ICIMODにおける知見の収集は、4つの主要な研究・開発プログラム、(i)山岳農業システム、(ii)人口と雇用、(iii)インフラストラクチャーと技術、(iv)環境管理からなる。政策や他の計画に反映させるため知見の広報や活動としては、(v)文書・情報交換、(vi)自然資源の評価とモニタリング、(vii)地域開発計画と実施、(viii)制度・専門家開発計画を実施している。

4. データ管理

山岳環境・自然資源情報システム(MENRIS: Mountain Environment and Natural Resources Information System)を開発している。

- (1) GISを用いて共通の問題を解決し結果を宣伝して、山岳地域の国々の環境と自然資源管理を改善し、持続的な経済成長を促進する。
- (2) GIS技術を用いてICIMODの関係国間の情報交流を促進する。特にヒマラヤ地域の森林伐採、土地劣化、洪水、渇水と環境破壊の問題を解決することを支援する。

5. 協力関係

1991年には次の組織と協力してケーススタディを行っている。

- ・ラリットプア地区(Lalitpur District)についてNPC、UNDPと協力
- ・テク・コーラ流域について土壌保全担当者、EEC/BWPと協力
- ・ダーディング地区(Dhading District)のDTZ-Dhadingプロジェクトについて地方開発省と協力

6. 文献

ニューズレター、パンフレット